

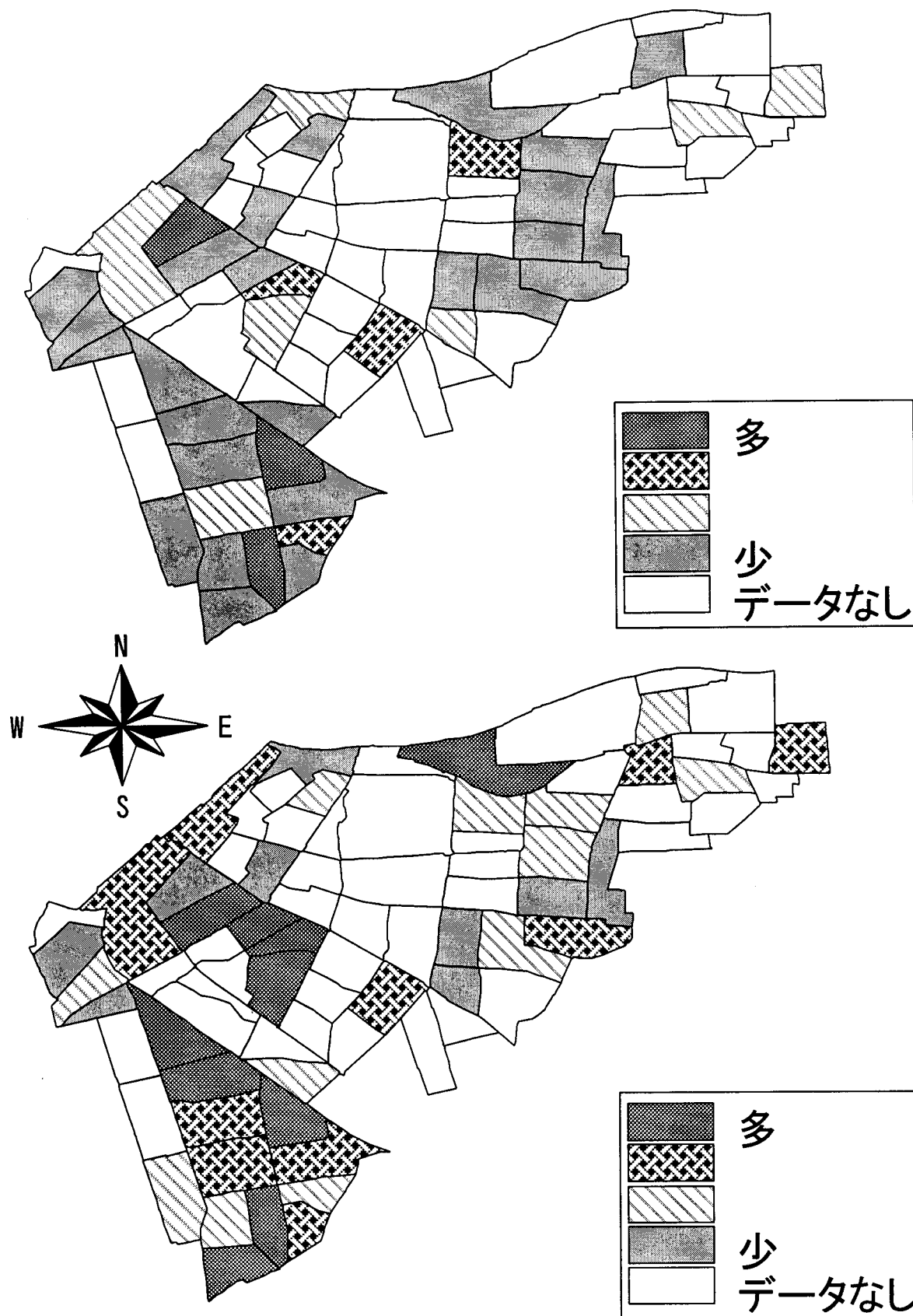


図2-7-1 ひったくりの自己報告被害(上段), 車道と歩道が区別されていない道路(下段)

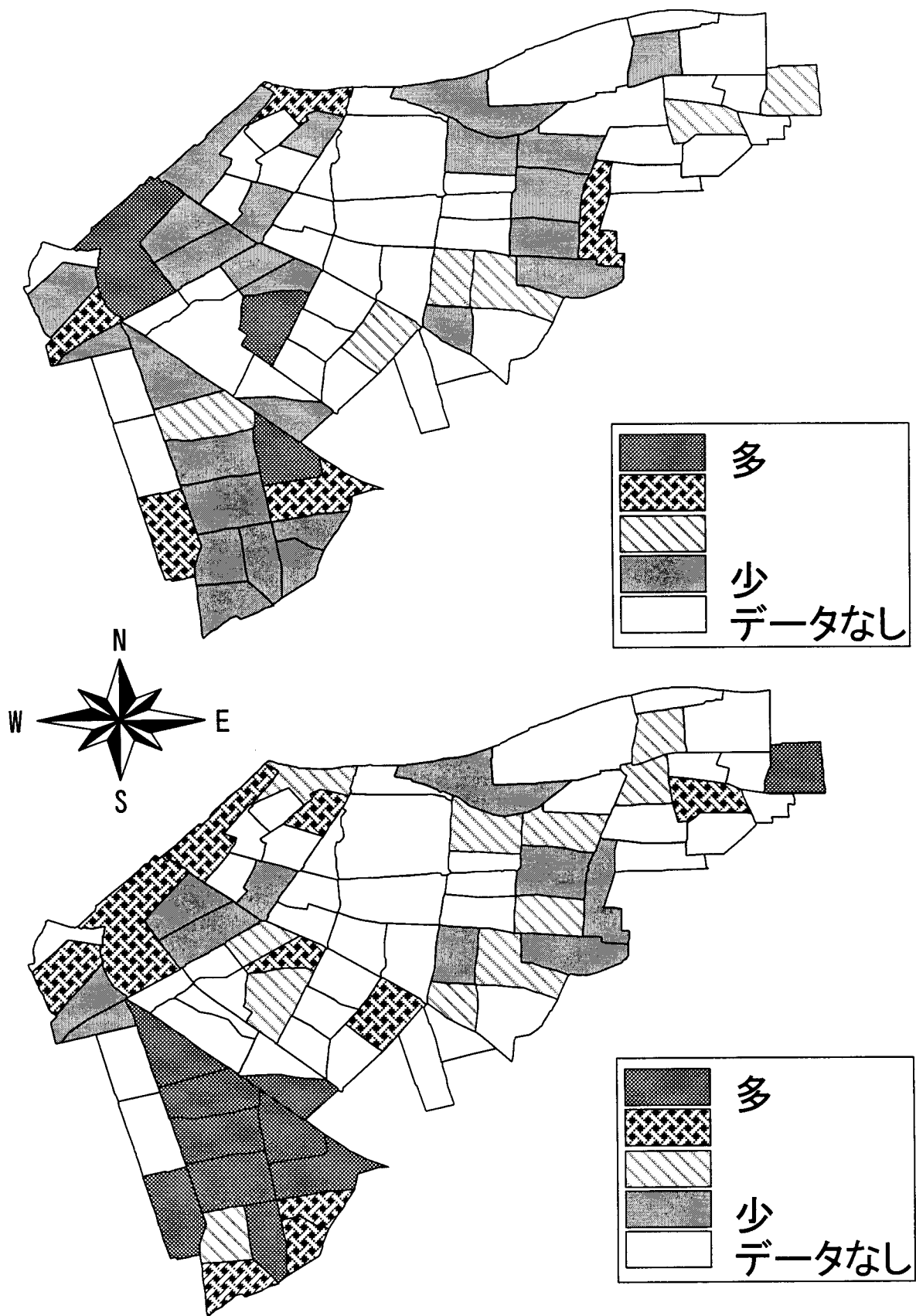


図2-7-2 バンダリズムの自己報告被害(上段), 脇道や行き止まりの多い道路(下段)

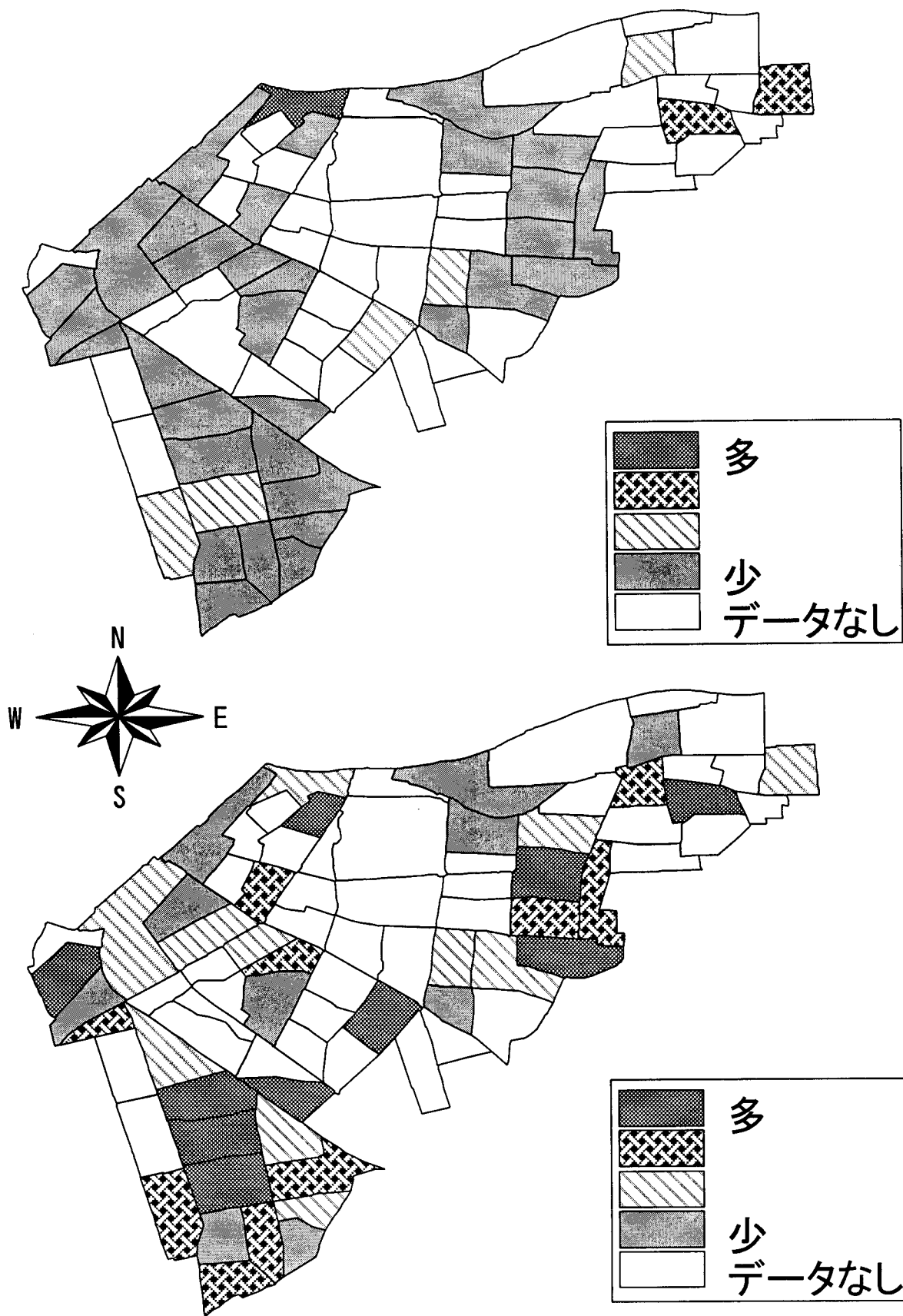


図2-7-3 性的犯罪の自己報告被害(上段), 樹木や植栽で見通しが利かない公園(下段)

次に、表2-7-2は、「地域の物理的環境」と犯罪不安感（町丁目単位の平均値）との関連（相関係数）を示したものである。まず、バンダリズムにあう不安感については、「街灯が足りないため、夜暗い道路」「街灯が足りないため、夜暗い駐車場・駐輪場」「周囲から見通しが利かない駐車場・駐輪場」「街灯が足りないため、夜暗い公園」の4項目各々との間で、絶対値が.31以上の正の相関係数が得られた。このことは、街灯が足りなかったり、見通しが利かないために自然監視が行き届かない環境がバンダリズムに対する住民の不安感と結びつくことを示唆している。図2-7-4には、バンダリズムにあう不安感と「周囲から見通しが利かない駐車場・駐輪場」の状況を町丁目レベルでまとめて図示した。ひったくりにあう不安感については、「樹木や植栽が邪魔して見通しの悪い道路」との間で-.33の負の相関係数が得られ、「街灯が足りないため、夜暗い道路」との間では.32の正の相関係数が得られた。この結果を前出の表2-7-1の結果と比べてみると、ひったくりの自己報告の多い物理環境が必ずしも住民のひったくりに対する不安感を喚起するものにはなっていないことが明らかである（ひったくりにあう不安感と「街灯が足りないため、夜暗い道路」の地域的な関連については、図2-7-5を参照）。同様の結果はちかんにあう不安感についてもみられ、ちかんの自己報告被害と.20以上の正の相関係数が得られた項目に関して、ちかんに対する不安感との間で絶対値.20以上の正の相関係数は得られなかった。ちかんの不安感と.20以上の正の相関係数が得られたのは、「街灯が足りないため、夜暗い道路」と「街灯が足りないため、夜暗い駐車場・駐輪場」の2つであった。図2-7-6には、ちかんの不安感と「街灯が足りないため、夜暗い駐車場・駐輪場」の地域的な状況を図示した。

表2-7-2 地域の物理的環境と犯罪被害に対する不安感

	犯罪不安感		
	バンダリズム	ひったくり	性的犯罪
車道と歩道が区別されていない道路	-0.10	0.09	-0.18
脇道や行き止まりの多い道路	0.06	-0.10	-0.22
街灯が足りないため、夜暗い道路	0.53	0.32	0.28
街灯が足りないため、夜暗い駐車場・駐輪場	0.34	0.16	0.23
周囲から見通しが利かない駐車場・駐輪場	0.31	0.02	0.10
樹木や植栽が邪魔して見通しの悪い道路	-0.25	-0.33	-0.50
樹木や植栽が生い茂って、周囲から見通しが利かない公園	-0.02	-0.11	-0.09
街灯が足りないため、夜暗い公園	0.38	0.00	0.12
雑草が生い茂って、周囲から見通しが利かない草むら・空き地	0.13	-0.17	0.03

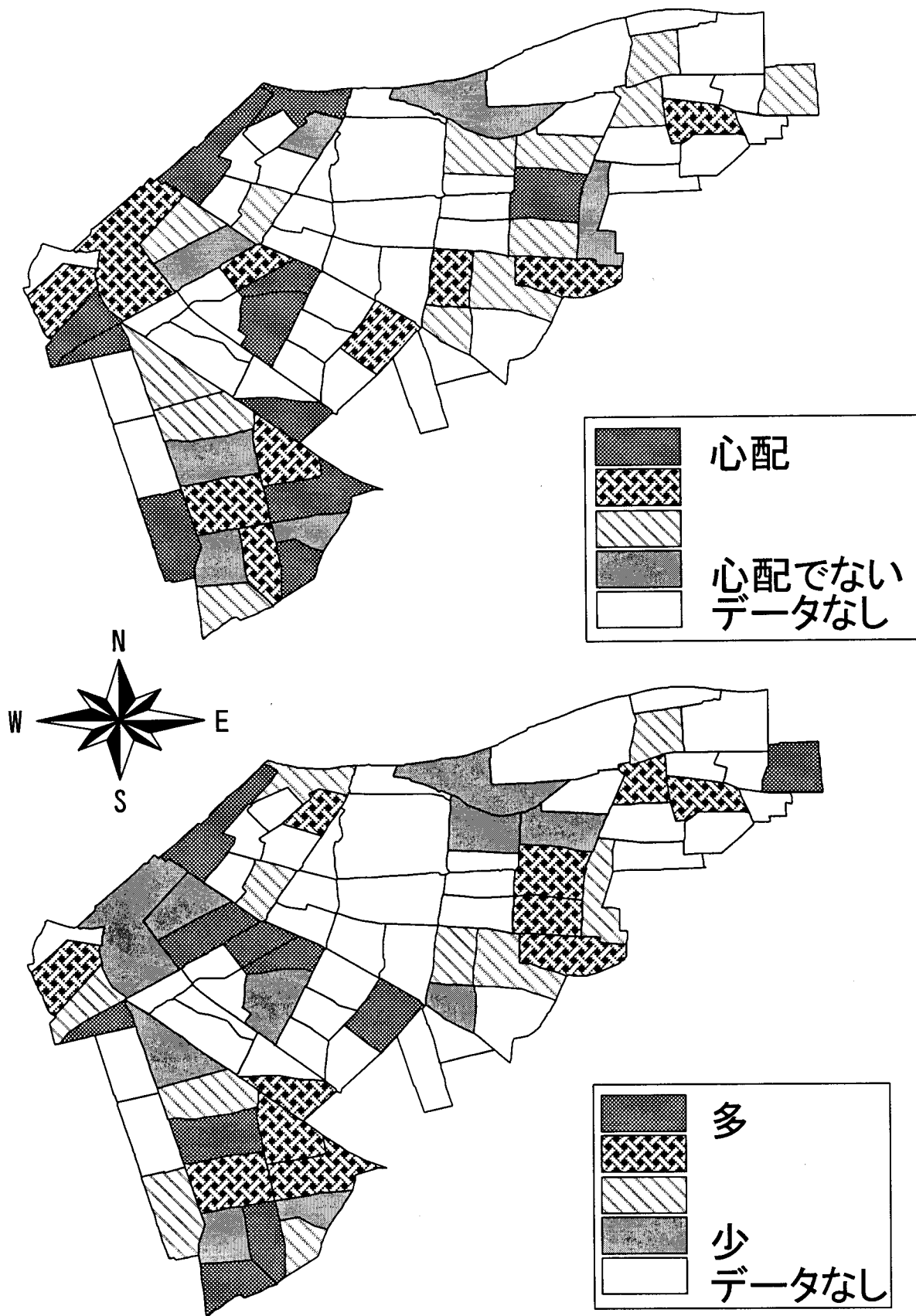


図2-7-4 バンダリズムの不安感(上段), 周囲から見通しが利かない駐車場・駐輪場(下段)

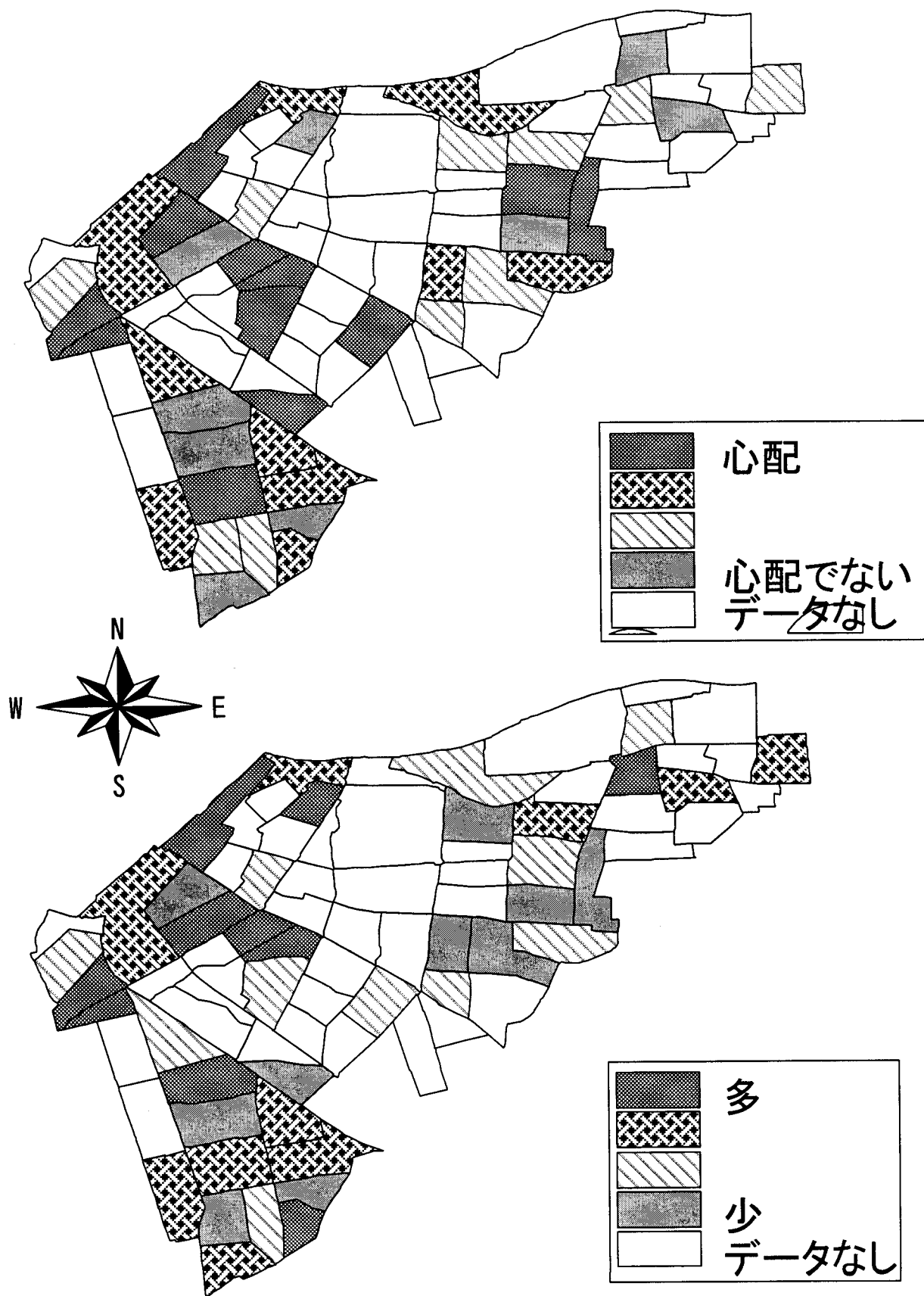


図2-7-5 ひったくりの不安感(上段), 街灯が足りないため、夜暗い道路(下段)

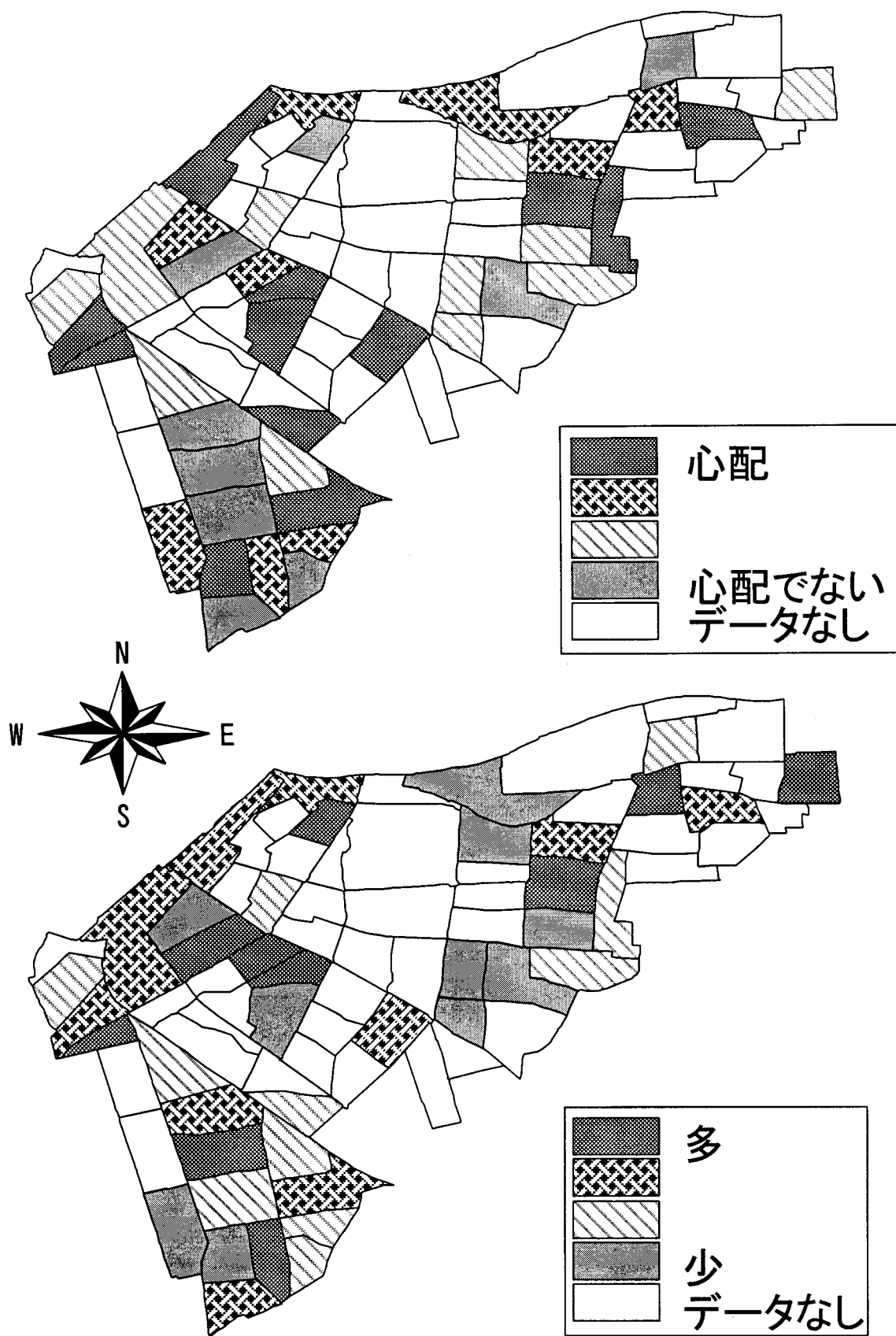


図2-7-6 性的犯罪の不安感(上段), 街灯が足りないため、夜暗い駐車場・駐輪場(下段)